

医療法人社団優恵会特定認定再生医療等委員会 議事録

1. 開催日時・場所

日時：2022年9月16日（金） 19：55～20：05

場所：東京都品川区西五反田 4-31-17 MY ビル 4F 医療法人社団優恵会及び Web

2. 出席者

寺村委員（再生医療）、矢澤委員（分子生物学）、漆畑委員（臨床医）、土橋委員（細胞培養加工）、井花委員（法律）、相羽委員（生命倫理）、井上委員（生物統計）、山崎委員（一般）

3. 技術専門員

漆畑 修

4. 再生医療等提供計画を提出した医療機関の名称・管理者

医療法人社団優恵会 銀座よしえクリニック新宿院

管理者 奥野 彰子

5. 再生医療等の名称

自己線維芽細胞を用いた皮膚再生治療

6. 提供計画の受領日

2022年8月19日

7. 審議内容

廣瀬：新宿院の PRP と線維芽細胞についての経過結果についての報告です。

まず PRP です。1 年間で症例が 276 あり、有害事項の事象が特にありません。評価については患者と医師の平均を出しました。5 段階の評価の中で 5 が一番満足です。患者の平均評価が 3.7、医師が 4.3 になり、所見において主に挙げられるのが、肌のハリ、小じわの改善です。よって、PRP に関しては、治療の効果に有効性があると考えます。

線維芽細胞ですが、症例が 5 例あり、うち 1 例の評価が完全に終わっていません。有害事象は特になく、患者の評価の平均は 4 でした。評価が終わっていない 1 例については除外しました。医師の評価は、4 が 2 つと 5 が 2 つで、平均は 4.5 になります。初見は、ハリ感質感の改善と肌の透明感が出てきたという表現になっています。1 ヶ月後、3 ヶ月後の最新の評価ですが、患者の平均は 3.5、医師が 4.5 でした。目元のクマの効果はなかったが、ハリが出たという意見があり、他

はハリ感を中心に満足されている報告になりました。以上になります。

井上肇：ありがとうございます。何かご意見ありますか。

寺村：定期報告の場合、統計解析を求められると思います。PRPは250症例を超えていますので確実にやっていただく必要があると思います。統計解析に至る途中のデータグラフなども出していただきたいです。線維芽細胞の方は、症例数も少ないので難しいかと思います。

井上肇：他に何かありますか。典型例の症例はこれで良いと思います。個人的な興味でお伺いします。肝斑などの部分にも、全顔でPRPの治療をされていると思いますが、肝斑が薄くなったとか消えたとか、何か色素沈着に対してPRPが影響を及ぼしたような治療経験はありますか。

廣瀬：肝斑の部位も全部打ってはいます。肝斑が薄くなったという表現はありませんが、透明感が出てきたという意見があります。今のところ、濃くなったという訴えは1例もないです。今後、3Dカメラを使って、色素への影響がデータとしてあるかを見ていこうと思っています。

井上肇：PRPが専門ですが、いろいろな美容医療施設から、「PRPで色素沈着が一定程度軽減されたが、そのメカニズムは何か」と聞かれることがあります。私も答えられず、こういう機会に実施される先生に聞いています。透明感が出ている、というような表現がありますので、おそらく何かメカニズムがあるのかなと思いました。寺村先生がご指摘いただいたように、PRPに関する評価に関しては、統計学的な解析を行えば良いと思います。

委員会として、提出書類を出席委員が確認し、適切と決した。

8. 結論

承認 8名

否認 0名

当委員会は、再生医療等提供計画が、再生医療等の安全性の確保等に関する法律及び施行規則に準拠した再生医療を提供するものと判断する。以上に鑑み、今回審査した定期報告について「承認」と判定する。